

視察研修先	神奈川県茅ヶ崎市議会	氏名	佐藤 耕治
視察研修項目	1. 一般質問における重複質問について 2. 各委員会での政策討議について		
感想・所見等			
概要 神奈川県の中南部に位置し、東京から西に 50km あまり、湘南砂丘となだらかな丘陵からなっている。人口 243,951 人、面積 35.76K m ² 、第三次産業と第二次産業が盛んな地域。			
議会 議員数 28 名、常任委員会数 4 委員会 他委員会と協議会で運営されている。			
1. 一般質問における重複質問について			
(1)経緯 一般質問は、住民を代表して行うものですから、前の議員が質問したことを後の議員が発言することは考えられないことです。			
(2)取り組み 一般質問の重複質問調整の仕組み 定例会の本会議では、議案説明後に委員会審議となり、終了後、定例会の最後に一般質問の日程がとられています。			
① 一般質問仮通告を議員が閲覧できる。 ② 仮通告期間を 6 日間とし、議員間で調整を行い、通告書を訂正。 ③ 重複がなかった場合はその旨を報告する ④ 議会運営委員会で重複質問を確認する。 ⑤ 質問の調整後に、本通告書を提出する。(本通告期間は 6 日間)			
(3)重複調整の課題 仮通告を導入したことで、調整がスムーズになった一方で、早期に質問項目を提出する義務が生じたことで、内容変更や項目が制約されているとの意見があります。			
(4)感想・所見 一般質問の重複は、答弁者も重複することからも良い取り組みと言えます。 しかし、本市の定例会では、議案説明の後、一般質問が実施され、その後、各委員会等の審議がなされている。一般質問の重複について、仮通告と本通告の実施にあたっては、一定の期間が必要であります。審議と一般質問の組み換えには議会運営委員会や議員全員協議会で検討し、更に、執行部の準備等に要する時間も考慮しなければなりません。 一般質問の重複がなくなるよう検討の必要性を強く感じました。			
2. 各委員会での政策討議について			
(1)取り組みについて			
①議会条例にて、市政に関する重要な政策又は課題について、議会としての共通認識の醸成			

を図るため、討議の機会を設けている。

②4つの常任委員会がテーマを選定し、調査研究し、素案を作成して、全員協議会で図り、議会として、議長から市長へ政策提言書を提出している。

③各常任委員会の活動

任期2カ年の構成委員で活動。

スケジュール

全議員説明会→大要テーマ(決定)→調査研究(テーマを深める) →正式テーマ決定→調査研究(随時) →中間報告(全員協議会) →調査研究(継続しつつ提言書の素案を作成する) →委員会案を議長に提出→議会の提言書に昇華 →政策提言書を議長から市長へ提出。

反映された一例「シティプロモーション担当」

(2)感想・所見

条例制定を目指してこられたことに敬意を表します。茅ヶ崎市議会は、28名の議員で4つの常任委員会であること。また、他の委員会等の役職も分散できるメリットが挙げられます。第一に、議会条例の制定について、議論しなければ前に進めない現実があります。

本市では、議員数は議長を除くと15名となり、現在 議員の重複した役職が複数名となっております。これまでも市長に、議長を通して、政策提言や要望書を提出してきた経過もあり、今後更に、議員は多くの市民の要望や本市の方向性を幅広くお聞きする議会報告会や各種団体との意見交換会を充実させ、また、高校生との意見交換を活発に行い、政策提言できるよう努力していくことが賢明であります。

視察研修先	茨城県取手市議会	氏名	佐藤 耕治
視察研修項目	1. オンラインを利用した議会運営の取り組みについて 2. ICTを活用した市議会の危機対応の取り組みについて		
感想・所見など			
<p>概要</p> <p>取手市は、茨城県の南端に位置し、東西 9.3km、南北 14.4km であり、利根川とその支流である小貝川の二大河川に囲まれ、水と緑に囲まれた地域です。東京、成田、つくばを結ぶ三角形の中央に位置していることから、首都圏のベットタウンとして交通の利便性と自然環境に恵まれた都市環境をもっています。</p> <p>総面積：69.94 km²、人口：106,143 人 産業構造：第三次産業と第二次産業が盛んな都市であります。 歳入額：390 億 1 千万円、議員定員：24 名、3 つの常任委員会</p> <p>1. オンラインを利用した議会運営の取り組みについて</p> <p>(1)オンライン取り組みについて</p> <p>取手市議会は、議会早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度ランキング、2 年連続日本一に輝いた市議会であります。</p> <p>①オンライン会議時の申し合わせは市議会会議規則を設けている。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、議事堂に参集して議会運営を行うことを最小限に抑える必要あることを踏まえ、災害や感染症の発生時において、オンライン会議システム等の情報通信技術を活用し、議会活動の継続を図るとともに、平時においても電子表決用タブレット端末等の情報通信技術を積極的に活用していくことを取手市議会として推進するため、条例制定がなされている。</p> <p>③やむを得ない理由により招集が困難な場合には、委員がオンライン会議システムにより委員会の会議に出席することを認めている。さらに、電子採決システムにより、採決をおこなう事ができるように、改定も進められてきた。</p> <p>④360 度カメラによるインターネット発信（会議室の中央に三脚でカメラを立てて、マウスを動かすことで周りの動画発信ができるということです。）</p> <p>⑤提出予定議案のオンラインの事前説明の画像（定例会数日前に議場において市長と関係者のみにて議案番号順に、提案理由説明を述べる。）</p> <p>⑥定例会等では、「音声認識システム」を活用し、リアルタイムで文字になり、職員がリアルタイムで修正して出来上がります。</p> <p>⑦現地確認調査について</p> <p>これまでは、現地へ公用車等で乗り合いし、委員と担当職員が現地で説明を行い、移動時間と説明時間とで、短くとも 1 時間 30 分程度の時間を要しておりました。現在は、事前に、担当職員が現地で、スタンバイ状態から 8 分程度の現地状況説明や事前録画を実施しております。委員会等の時間短縮が可能となりました。動画を見ながらの質問も可能であります。</p> <p>⑧議員へのタブレット端末の操作等や表決に関しても、操作の誤りがないように何回も何回も</p>			

研修をこなしてから実践しております。

⑨広報の方法として、定例会等での映像を何度でも視聴できる YouTube 発信が有用でありました。

(2)感想・所見

コロナウイルス感染防止により、行政視察が中止になるか不安でありましたが、視察を迎えて頂いたことに深く感謝申し上げます。

また、昨年、山形県市議会議長会の事務局職員研修会の講師をして頂き、重ねてお礼申し上げます。

取手市議会は、議会改革度ランキング、2年連続日本一に輝いた市議会であります。2年間という短い期間の中で、タブレット端末をフルに活用されている皆様のご努力に頭が下がります。コロナ禍での議会改革の必要性を踏まえ、平時でのオンライン会議の申し合わせとして、市議会会議規則を設けるに至ったことは、24名の議員と議会事務局職員が度重なる会議や研修会をなされてきた賜物と感じております。特に、事前に、議案説明を映像にて何度も視聴できること。どこからでも会議に参加できることは、天候不順の中でも、事前に、担当職員が現場に出向くことで調査ができることは、往復の移動時間の短縮により、速やかに会議の現場説明と質問に入れます。本市においても実践できることから始めてはと感じました。

また、本市議会においても、タブレット端末の操作について、何度も研修することが賢明であるのではないかと考えます。

2. ICTを活用した市議会の危機対応の取り組みについて

(1)議会指針

1 安否確認

2 議員による情報収集共有、デジタルマップで情報整理

以上のことを訓練している。

(2)訓練内容

ICTの訓練

電話回線が混雑するも接続可能ということ、インターネットが使用可能という条件下で訓練を実施。『地震の強さはマグニチュード7.2、茨城県南部を震源に、地震の深さが30km、震度7、気候状況は晴れ、庁舎議会等の建物は無事、電気・ガス・水道などのライフラインが麻痺している模様。』市の災害対策本部、安全対策の職員も参加。

議会事務局長→正副議長→防災服着用して登庁し、災害対策会議を設置→動き始める→メールとLINEで安否確認(模擬の災害が起きたというメール発信)。各議員に、現場の道路状況や道路渋滞等の現場の写真画像をメール送信して、議長・副議長がデジタルマップに落とし込んでいく。開始から約6分で安否確認(タブレットをお持ちでない議員には、スマートフォンのメールやLINEを活用する)。メールサーバーの不調を想定して、LINEで第二構成として活用した。LINE活用の根拠(通話、画像のやり取りができ、ビデオ通話もできるということから。)

(3)感想・所見

災害は、いつどこで起きるがわからない「備えあれば憂いなし」。取手市の災害対策本部、安全対策の職員と一緒にこなえることは望ましいことである。タブレットは大変便利ではあ

るが、日頃から持ち運びやすいスマートフォンの利活用を第二の連絡手段にしていること。日頃からタブレットやスマートフォンの操作を実践的に行うことの重要性を感じた。更に、充電器を準備しておくことも必要性と考えます。

この度、取手市議会からご指導を頂いたことに深く感謝申し上げます。